

知床世界自然遺産地域管理計画の見直しについて

1. 知床世界自然遺産地域管理計画について

- ・知床世界自然遺産地域管理計画（以下「管理計画」という。）は、知床の世界自然遺産としての価値をより良い形で後世に引き継いでいくに当たり、極めて多様かつ特異な価値を有する遺産地域の自然環境を将来にわたり適正に保全・管理していくことを目的として2009年に策定。
- ・管理計画は、関係行政機関が知床世界自然遺産地域科学委員会の助言を得つつ、地元自治体及びその他の行政機関、漁業・観光関係の団体をはじめ、遺産地域の保全・管理や利用に密接な関わりを持つ団体等と相互に緊密な連携・協力を得ることにより、遺産地域を適正かつ円滑に管理するため、各種制度の運用及び各種事業の推進等に関する基本的な方針を明らかにするもの。
- ・見直しについては、現行の管理計画において、以下のとおりとされている。
「管理計画は、自然環境のモニタリング結果や社会環境の変化等を踏まえ、必要に応じて見直しを行う。その際、地域住民や関係団体の意見を聴き、科学委員会からの助言を得つつ、地域連絡会議において検討することにより、適切に見直しを行うこととする。」

2. 管理計画の見直しに当たってのポイント（案）

(1) 最新の情報に基づく記載内容のアップデート

- ・長期モニタリングや総合評価に基づく科学的知見、現行の管理計画策定以降における各種取組の進捗状況等に基づき、記載内容をアップデートする。

(2) 管理計画における遺産関連計画等の位置づけの明確化

- ・知床半島エゾシカ管理計画、知床半島ヒグマ管理計画、知床エコツーリズム戦略等の遺産関連計画等に基づき、遺産地域の保全・管理を進めていくことについて、管理計画において明確化する。

(3) 長期モニタリング及び総合評価の位置づけを明確化

- ・現行管理計画においても、「調査研究・モニタリング」に関する記載があるが、長期モニタリング計画に基づくモニタリング及び総合評価の実施について、管理計画において明確化する。

3. 今後の進め方（案）

- ・現行管理計画の策定経緯を踏襲し、科学委員会、地域連絡会議での検討を行った上でパブリックコメント、両町における地元説明会を実施。
- ・その後、科学委員会及び地域連絡会議での最終確認を経て、関係行政機関で決定。

	<科学委員会>	<地域連絡会議>	<地元等>
【R4 年度】			
9月	科学委員会 ・見直しに当たってのポイントの検討等		
10月	↑ 各WG/AP等で 関連する項目の 記述を確認し、 必要に応じて修 正追記 ↓	地域連絡会議 ・見直しに当たってのポイントの検討等	
11月			
12月			
1月			
2月	科学委員会 ・改定（案）の確認		
3月		地域連絡会議 ・改定（案）の確認	
【R5 年度】			
4月	↑ 各WG/AP等で 関連する項目の 記述を確認し、 必要に応じて修 正追記 ↓		パブリックコメント
5月			地元説明会（斜里町・羅白町）
6月			
7月			
8月	科学委員会 ・改定（案）の最終確認		
9月		地域連絡会議 ・改定（案）の最終確認	
10月	↑ 関係行政機関で最終調整 ↓		
11月			
12月			管理計画（改定版）の確定

注記）上記のスケジュールは、議論の進捗状況に応じて柔軟に見直していく